

学びだより

『夢中で学ぶ子』

～進んで対話し、根拠をもとに自分の考えを豊かに表現する力を育む授業づくり～

和泉市立信太小学校
授業改善担当 辻川翔太
令和4年7月14日
第3号

3年1組 研究授業 算数「時間と時刻」

6月17日（金）5時間目に、3年1組で研究授業を行いました。算数科「時間と時刻」の活用場面です。この単元の学習では、「つきたい力」を以下のように設定しました。

- ・日常生活に必要な時刻や時間を求めることができる。
- ・日常生活の場面について、模擬時計や数直線を用いて時刻や時間の求め方を考えることができる。

授業づくりで意識したことは、「①日常生活と関連付けた問題場面にする」「②複数の資料を根拠に考えを持つ」「③模擬時計や数直線を用いて説明する」の3点です。

以下は授業の様子です。問題は、秋に行くオリエンテーリングが題材です。

〈先生の仕事を体験しよう〉

【仕事】 わくわくはんで、大せん公園に行くことにしました。大せん公園に午前10時にとう着するように学校の出発時刻を考えましょう。

※ひつようなしりょうをえらんで時刻をもとめましょう。

さらに資料が4つ提示されています。その中には必要のない資料もあります。

〈しりょう①〉 学校から北信太駅まで。

- ・車で 5分。
- ・自でん車で7分。
- ・歩いて10分 がかかります。

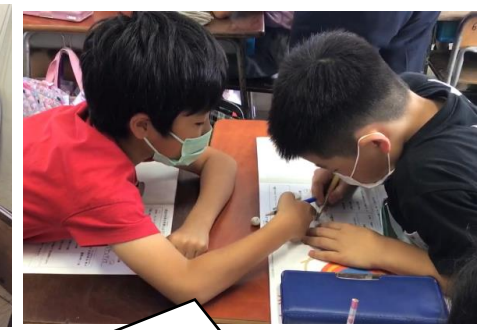
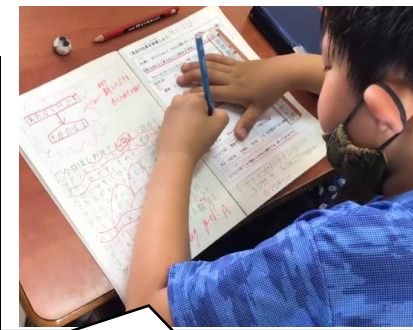
〈しりょう③〉 電車代。

大人 180円 小学生 90円。

〈しりょう④〉 もず駅から大せん公園までは、歩いて20分です。

学校の出発時刻を求めるためには、必要な情報を選んだり、情報を関連づけたりする必要があります。つまり、目的を意識し、自分で資料を見ることが求められます。

このような「目的に応じて、必要な情報を選択したり、関連づけたりする」ことはどの教科においても大事にしていきたいと考えています。



分かったことを数直線や資料に書き込んだり印をつけたりしながら整理していました。

「もず駅から歩いて20分だから・・・」
模擬時計を使いながら資料の情報を整理していました。

「20分進むやろ？」
「うんうん、1、2、3、4」と1めもり5分の数直線を指さしながら対話を進めていました。

〈行き方〉

① 10分 学校 → ② 9時20分 北信太駅 → ③ 20分 もず駅 → ④ 20分 大せん公園

9時 10時

歩いて10分 電車の時刻表 もず駅まで 大せん公園まで

〈しりょう①〉 学校から北信太駅まで

- ・車で 5分
- ・自でん車で7分
- ・歩いて10分 がかかります。

〈しりょう②〉 きたしのだえきしゅっぱつ 北信太駅 出発の 電車の時刻表

- ・9時5分発
- ・9時20分発
- ・9時35分発
- ※ もず駅まで20分間のります。

大人 180円 小学生 90円

〈しりょう④〉 もず駅から大せん公園までは、歩いて20分です。

「資料④にもず駅から大せん公園まで20分って書いてるから、10時から20分前がもず駅になる。」
ゴールの10時から逆算する考えがでてきました。

9時 10時

もず駅 大せん公園

出発時刻が分からない問題なので、ゴールの10時から逆算する考え方が大事になってきます。しかし、子どもたちにとって逆算する考え方は馴染みがないようでした。それでも3年1組の子どもたちは試行錯誤しながら、最後まであきらめずに考えていました。また、考える過程で友だちと協力する姿も見られました。

研究授業の後は、討議会を行いました。教員がグループごとに分かれ、「どのような学びをしていたか」「つきたい力をつけるためには？」等、意見を交流しました。

また今回の研究授業では、講師の佐藤雅彰先生（富士学び工房(研究所)代表）に来校していただき、「子どもがつながる授業づくり」についてご教授いただきました。

今後も「夢中で学ぶ子」を目指して、「進んで対話すること」「根拠をもとに考えを表現すること」を大切にしていきます。

時間と時刻は日常生活に直結する学習です。是非ご家庭でも、決まった時間前の時刻（時間を戻して考える）を訊ねてあげてください。今回学んだことを日常生活に活かしてほしいと思います。